



東北新人大大会に初めて挑むメンバー

柏中男子バスケット部が東北新人大大会初出場

柏中学校（石田陽一校長）の男子バスケットボール部が、11月3日、4日に青森市で行われた第56回県中学校秋季バスケットボール大会で優勝し、1月12日から秋田県横手市で開催される東北中学校新人大大会に初出場します。

11月29日、選手らが福島市長を表敬訪問し、大会へ向けた意気込みを語りました。

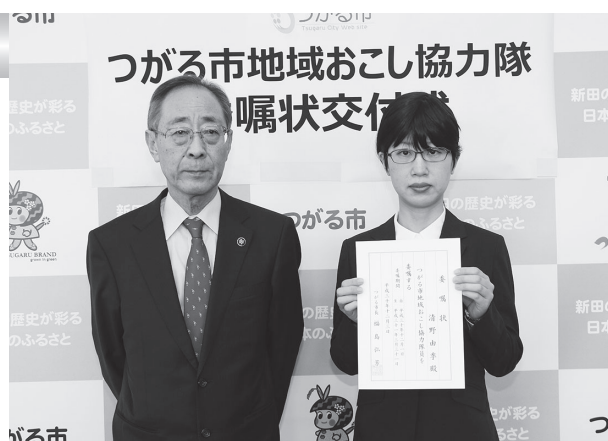
正井忠男コーチによると、小柄な選手が多いこのチームは、日々の練習で鍛えた走力が武器。県大会では、身長で上回るチームを相手に、粘り強い戦いで勝ち上がりました。藤本錬主将は「これまで努力してきたことを発揮して、東北大会でもいい成績を残したい」と抱負を述べました。

市に初めての「地域おこし協力隊員」

首都圏から地方に移住して地域おこし活動などに協力する「地域おこし協力隊」。その初の隊員として、市は東京都内でIT関係に従事していた清野由季さんを委嘱しました。

清野さんは北海道旭川市出身。父親が鰯ヶ沢町の出身で何度か市を訪れたことがあり、メロンやスイカなど食べ物がおいしいことに魅力を感じていたそうです。

12月3日の委嘱状交付式では、福島市長が「私たちが気づかない市の魅力を外から来た目線で掘り起こしてほしい」と激励。清野さんは「フットワークが軽いことが長所。前職の経験を生かしてがんばりたい」と答えていました。清野さんは、商工観光課へ配属され、SNSによる情報発信などの役割を担います。



委嘱状を受け取った清野さん



喜びを報告した五所工バレー部

いざ、春高バレーへ！五所工が5年ぶり7回目

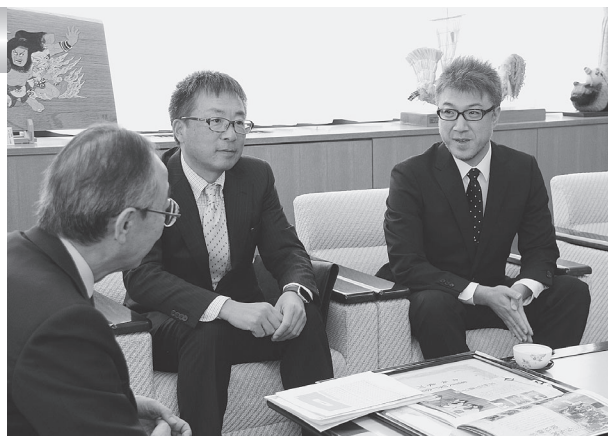
五所川原工業高校（三上浩校長）のバレーボール部が、11月10日、11日に青森市で行われた全日本高校選手権県代表決定戦で優勝し、1月5日から東京都で開催する全国大会、通称・春高バレーへの出場権を手に入れました。

このチームは、稲垣中と木造中を卒業した1、2年生が主力を務めます。3校と対戦した代表決定戦では、3年生が主体のチームに対して攻めの姿勢を貫き、見事5年ぶり7回目の全国切符を手に入れました。12月3日、選手らが全国への抱負を福島市長に報告。倉光雄大主将（2年・木造中卒）は「若い自分たちには恐れることは何もない。目の前の試合を一つ一つ勝ち上がる」と力強く語りました。

育成小PTAが栄誉

11月21日、東京都で開催された「日本PTA創立70周年記念式典」で、育成小学校PTA（天坂諭会長）が今年度の「日本PTA全国協議会会長賞（団体表彰）」を受賞しました。

育成小学校（相馬準一校長）は全校児童42人と小規模校ながら、長年地域と密着した協力体制でPTA活動を展開。また、一度は途絶えた地域の伝統芸能「三方荒神鹿島獅子」を昭和49年に復活させ、児童とPTAが中心となって伝統を継承し続けている点などが評価されたものです。12月5日、天坂会長と相馬校長が福島市長に受賞を報告。天坂会長は「歴代の取り組みがあってこそこの受賞。今後も活発なPTA活動を地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたい」と喜びを語りました。



相馬校長（中）と天坂会長（右）が表敬訪問

目指せアジア大会 一玖磨君がピアノ金

10月21日開催の「ショパン国際ピアノコンクールin ASIA」青森地区大会幼児部門で、森田町の岩本一玖磨君（6歳）が金賞に輝き、1月6日の全国大会への出場を決めました。

一玖磨君は、母・純子さんと一緒に2歳からピアノに触り始めました。3歳から通っている週2回のピアノ教室に加え、自宅でも曲調に合わせた指の運びを意識しながら毎日練習。その成果が実を結び、栄えある金賞を受賞しました。

12月5日、一玖磨君が市役所を訪れ「いつもありがとう。ぼくはピアノの練習を一生懸命がんばります」との手紙を福島市長にプレゼント。全国大会に向け「全国でも金賞を取りたいです」とアジア大会への出場を誓いました。



表彰状を誇らしげに持つ一玖磨君

「発動発電機」贈呈式



道の駅もりたで行われた贈呈式

災害時に役立てて

（一社）日本道路建設業協会東北支部（田祐久支部長）が12月12日、道の駅もりたアーストップ（今淳一駅長）へ発動発電機一式を寄贈しました。

同協会では、社会貢献活動の一環として、大規模災害時にドライバー等の拠り所となる「道の駅」へAEDや発動発電機などを贈る活動を毎年行っています。中でも東北支部では、これまで9つの道の駅へ発動発電機を寄贈しており、県内では2回目となります。贈呈式では、田支部長が「道路利用者や地域の方々のために役立ててください」と今駅長に目録を伝達。今駅長は「とても心強い。いざという時、いつでも使える体制で備えておく」と感謝していました。

地域とつながるコンサート

12月14日、市民診療所で「Xmasロビーコンサート」が開かれ、市民ら約100人がバンド演奏などを楽しみました。

診察や会計の待ち時間を楽しんでもらおうと始めたこのコンサートは、旧成人病センター時代も含めて今年が19回目。一昨年から「つながろう、地域と」をテーマに地域のデイサービス利用者らを招待し、より多くの市民に親しまれています。この日は、診療所の職員ら12人がサンタの衣装などに身を包んで登場。お馴染みの歌謡曲やクリスマスソングメドレーなど7曲を披露し、会場を盛り上げました。ギターを演奏した市民診療所の小倉事務長は「地域とのつながりを感じた。今後も市民とともに歩む診療所として取り組んでいく」と話していました。



つがるちゃんも登場し、盛り上がった会場



本を贈呈した今会長（左）。となりが神校長

五所川原法人会が柏小へ図書を寄贈

（公社）五所川原法人会（今謙一会長）が12月17日、柏小（神彰彦校長）へ図書一式を寄贈しました。同会では、社会貢献活動の一環として、平成25年度から管内2市5町の38小学校のうち毎年1校へ、税に関する図書などを贈っています。

この日は、今会長らが図書一式を持って同校を訪問。受け取った神校長は「児童の将来のため有効に使わせていただく」と感謝していました。

図書贈呈後は、5・6年生を対象に租税教室を開催。税金の種類や使い方など、税の基本についてアニメで分かりやすく説明しました。今会長は「子どもたちには、買い物などで自分も税金を納めていることを意識してほしい」と話していました。